



ロータリーは機会の扉を開く

THE ROTARY CLUB OF PORT NAGOYA

# Weekly Report

## 名古屋みなと

2020~2021

承認 1966年 5月12日 例会日 金曜日 12:30

例会場 名古屋マリオットアソシアホテル

事務局 TEL 052-221-7020 FAX 052-221-7023

E-Mail office@portnagoya-rc.com

URL http://www.portnagoya-rc.com

会長 高田 和裕 幹事 村田 誠一

広報・雑誌・会報委員長 久留宮 秀郎

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES. ロータリーは機会の扉を開く R. I. 会長 ホルガー・クナーク



### 第2600回例会 No.23

2021年(令和3年)4月9日(金) 晴  
「手に手つないで」

#### 出席報告

会員 61名中 出席 45名 出席率 73.77%  
○スピーカー 名古屋市港防災センター  
防災教育アドバイザー 近藤ひろ子さん

#### 会長挨拶



皆さん、こんにちは。本日は、2600回目のくぎりのいい例会です。また、来週16日金曜日 このマリオットホテルにて55周年の長い歴史の名古屋みなとロータリークラブの記念例会・式典を開催します。8月に開催できなかった、配偶者の会もあわせて行います。まだ参加申し込みのない

かたは、是非、事務局に参加申し込みください。さて、本日はやっとお目にかかれます。「コロナ」と「災害」により2度卓話がありました。名古屋港防災センター防災教育アドバイザー近藤ひろこ先生に卓話をしていただきます。近藤先生、まずもって私がお話を聞きたいという理由で卓話引き受けてくれてありがとうございます。本日は、「コロナ」と「災害」合言葉は「命、支え合い自ら動く」という、題目で卓話を後ほどいただきます。よろしくお願ひします。今日、4月9日は「大仏の日」です。聖武天皇が当時のはやり病・地震・反乱をおさめるために奈良の東大寺に造られました。聖武天皇の時代はトラブル続きだったそうです。都もうつしたそうです。最後は仏教に頼り大仏を作りました。西暦752年(天平勝宝4年)4月9日が東大寺の大仏の開眼供養式の日でした。開眼供養は仏像に魂を入れる日です。着工からこの日まで7年かかったそうです。現在「奈良の大仏」で親しまれていますが、正式名称は「廬舎那仏像」といいます。「奈良の大仏」さんは、出来た後も頭部が落ちたり焼き討ちにあつたりと波乱万丈な歴史を送っています。しかし、そのたびに、先人が補修・改修を繰り返し現在にいたっています。聖武天皇が世の平和を願

って造った大仏は今も元気です。聖武天皇が民に向かい大仏を造ろうと呼び掛けたのが743年。そして、僧の行基を中心に作りはじめました。行基は残念ながら工事中の事故で亡くなったそうです。学生時代にこのように聖武天皇が詔をだした743年を覚えた方も多と思います。

「もう迷いは743(なしさ)大仏造ろう」



最後に一冊の本を紹介させていただきます。  
新潮文庫  
「空が青いから  
白をえらんだのです」  
奈良少年刑務所詩集より

「夢と希望と挫折」  
生きていくために 夢を見る  
どんなに小さくても  
夢は希望を与えてくれる

ただ  
覚えておかなければならないことは  
夢は 大きければ大きいほど叶わなかった時  
大きな挫折をするということ

大切なのは  
希望も挫折も 受け入れること  
それこそが 生きる意味  
それこそが ぼくのスタートライン

## ニコBOX

(近藤ひろ子様、本日の卓話ありがとうございます) 高田会長  
(近藤ひろ子様、本日の卓話宜しくお願ひします) 村田幹事  
(例会終了後、会員研修がありますので、新人の会員の皆様ご参加下さい) 早瀬君  
(旬果展でおいしい青果物食べれましたか) 長瀬君  
(今週で入会させていただいて丸8年が経ちました。あっという間でしたが、引き続き皆様からたくさん学ばせていただきますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします) 野崎君  
(今日は例会失礼いたします。近藤先生、卓話よろしくお願ひいたします) 大平君  
(式典打合せに遅れて申し訳ありませんでした)

---

本日合計	14,000 円
累 計	1,593,000 円

## 幹事報告

村田 誠一君

皆さんこんにちは、幹事報告致します。  
今年1月に中日新聞からフィリピン・パンダナン島での国際奉仕事業の取材を受けました。4/8の中日新聞に掲載されましたが、現地でコーディネートして頂いたNGO法人「GO SHARE」の記事のみとなっていました。後ろの掲示板に新聞を掲載しておりますのでご覧下さい。  
本日例会前に親睦委員会を開催致しました。4/16の55周年記念例会の役割分担を致しました。只今の参加者は来賓6名・会員53名・配偶者7名・アクト5名・元米山1名です。来賓の主だった方は岡部ガバナー・照井ガバナー補佐・財団と米山の各委員長がみえますので宜しくお願ひします。  
本日例会終了後、「会員研修会」があります。対象の方はご参加下さい。

## 卓話「コロナ」と「災害」

～合言葉は「命・支え合い・自ら動く」～  
名古屋市港防災センター

防災教育アドバイザー 近藤ひろ子さん



この地方にも近いうちに必ず来ると言われている「南海トラフ地震」。それに加えて、昨今、日本中の各所でおこっている「活断層による直下型地震」そして「大雨・洪水」「台風」。私たちは、今、何をすればよいのでしょうか。「防災」は「『命を守る』+『みんなといっしょに生き延びてい

くこと』」です。そのときに大切なことは「命・支え合い・自ら動く」です。

「命を守る」ためには、まず、ご自宅または会社のある地域に、どんな災害の危険があるかを知ることが必要不可欠です。幸いにも、名古屋市では、3種類のハザードマップ(地震・津波・洪水)が16区別に平成27年に作成され、全戸配布されています。ぜひご覧ください。(令和元年8月に新しい情報・施策を入れ加筆修正されました。ただ、今回は全戸配布されていませんが、各区役所の総務課には配布用があります。こちら、ぜひお手元に。)

「避難」について考えるとき、「コロナウイルス感染予防」を抜くことはできません。そのため、分散避難(在宅避難・知人や親せき宅への避難・車中避難・ホテルなどに避難・避難所)を考えておく必要がありますが、住民サイドも行政サイドもまだまだ課題山積です。「コロナ」のせいで、「マスクにかくれて笑顔が見えない」「ソーシャル・ディスタンスのためにコミュニケーションがとりにくい」というフットワークの重い現実があります。このまま流されて行ってしまうと、「支え合い・つながりあい」の場面がどんどんなくなっていってしまいます。だからこそ、今、みんなで「支え合い・つながりあい」の場面を意識して作り出していく努力と姿勢が大切なのだと思います。

「命・防災」の第一歩は、「おはよう」「こんにちは」と声かけあえる、顔の見える関係づくりです。最後の最後、頼りになるのは、人の力、人とのつながりあいです。みんなの笑顔と命のために、一緒にがんばっていきましょう。

## 名古屋中央ローターアクトクラブ例会報告

名古屋中央ローターアクトクラブ

幹事 都築 瑠衣さん



4月7日（水）今池ガスビル7階プラチナルーム  
19:30～『フェアトレード』

来月5月8日に名城公園で行われる「世界フェアトレード・デー・名古屋2021」のボランティア参加に向けて、今回の例会では事前学習という位置づけで「フェアトレード」をテーマに例会を行いました。

社会奉仕のテーマとしてよく聞くフレーズですが、詳しくは知らないといった方も少なくありません。フェアトレードが何を指している社会的にどういった意義があるのか、イベント参加に向けて知識を深めるいい機会になりました。また「世界フェアトレード・デー・名古屋2021」実行委員長鈴木さまもお招きし、

イベントの歴史や団体としてのフェアトレードとの向き合い方等をお話していただきました。ローターアクトはアクター同士の交流は盛んではありますが、社会奉仕を行う他団体との繋がりはあまり多くありません。今回こういった他団体のイベントにボランティア参加することで、社会奉仕活動としての経験だけでなくアクトだけでは得られないアイデアや考え方、イベント運営のノウハウ等吸収していきたいと感じました。

5月8日の「世界フェアトレード・デー・名古屋2021」ではおいしいコーヒーがいただけます。ロータリアンの皆様もぜひ名城公園に遊びに来てください。また、次回の例会は4月25日（日）の地区年次大会を予定しております。名古屋みなとロータリークラブからは61名のご登録をいただきまして、本当にありがとうございます。ホストクラブとして開催に向けて一丸となって取り組んでおります。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 豆知識3 「ロータリーの目的（2） 一本文について」

職業奉仕委員会（委員 小島清路 記）



前回は「ロータリーの目的」の内容全体について説明しましたが、今回はその本質部分である柱書（「本文」という。）について説明します。

「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として（as a basis of worthy enterprise）奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあ

る。具体的には（in particular）、次の各項を奨励することにある：」この目的規定の本文は、目的内容そのものであり、最も重要で目次全てのことに通じる規範となるような位置づけの規定とします。この本文は、「事業の基礎として」とあります。即ち、「事業の基礎を前提としてロータリーにおける奉仕の理念を育みましょう。」と言っています。更に言えば、「ロータリーは、ロータリアンが有益で意義ある事業の基礎に奉仕の理念（奉仕の心）を持つように奨励しましょう。」「ロータリアンは、ロータリーにおいて意義ある事業の基礎としての奉仕の理念を研鑽しましょう、そして、このロータリーで研鑽して得た奉仕の理念をもって各自の事業を行いましょう。」と言っていると私は思います。そして、この目的規定には、「**具体的には、次の各項を奨励することにある：**」とあり、この「**各項**」は、皆さんよくご存知の「親睦」、「職業奉仕」、「社会奉仕」及び「国際奉仕」の4項目とされています。これらの4項目は、本文に記載する「ロータリーの目的」の具体例として列挙されています。即ち、親睦も職業奉仕も社会奉仕も国際奉仕もあくまで「事業の基礎として奉仕の理念を奨励しましょう。」という「目的」の具体的例示という位置づけとなっています。

以上より、「ロータリーの目的」自体は、「親睦を図る」、「社会奉仕を図る」、「国際奉仕を図る」ことではなく、上記「本文」にあります「**事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある**」こととなります。

今回は、「ロータリーの目的」において列挙されている「**4項目**」について説明します。

月	日	今後の例会予定
4	16	<b>例会変更</b> 創立 55 周年記念例会 16F「アゼリア」 17:00
	23	地区研修協議会報告 次年度幹事 岡田 雅君 17F「コスモス」
	30	<b>休会</b>
5	7	<b>休会</b>
	14	卓話「鍼治療がもたらす効果」 篠原鍼灸院 鍼灸師 山内雅大様 17F「コスモス」
	21	卓話「ロータリーと危機管理」 2760 地区危機管理委員長 寺本 善雄君 17F「コスモス」
	28	卓話「ロボット支援手術について」 名古屋掖済会病院 副院長兼外科主任部長 加藤 祐一郎様 17F「コスモス」
6	4	第 3 回クラブフォーラム 次年度会長 栢森 雅勝君
	11	退任挨拶 会 長 高田 和裕君 幹 事 村田 誠一君
	18	<b>休会</b>
	25	<b>休会</b>